

## 2014 年度前期授業アンケート結果報告

岐阜経済大学では、授業方法の改善を図るため、年2回「授業アンケート」を実施し、その結果を受けた各授業担当者が自己評価を行うこととしています。

2013 年度前期に実施した「授業アンケート」の結果は以下のとおりです。

学科別集計表や各授業担当者による教育自己評価については、大学 web ページ（学内専用）で公開していますのでご覧ください。

ホーム>キャンパスライフ>学習>授業アンケート

## 2014 年度前期授業アンケート集計結果(全体的特徴)

- アンケートを実施した授業 **155**
- アンケート実施担当教員 **専任教員 49名のうち47名(95.9%)**  
**非常勤講師 61名のうち51名(83.6%)**

### 【属性】(設問 1～設問 2)

アンケートに答えた学生の内訳は、次表の通り。

学部学科別人数・構成比					学年別人数・構成比		
学部	学科	人数	構成比	備考	学年	人数	構成比
経済学部	経済学科	720名	17.9%		1年次	1459名	36.2%
	臨床福祉コミュニティ学科	49名	1.2%	4年次生以上	2年次	1282名	31.8%
	公共政策学科	433名	10.8%	1～3年次生	3年次	921名	22.9%
経営学部	スポーツ経営学科	2080名	51.7%		4年次	324名	8.0%
	情報メディア学科	724名	18.0%		5年以上	25名	0.6%
科目履修生・交換留学生・聴講生		19名	0.5%		科目等履修生など	16名	0.4%

延べ回答者数/延べ受講者数=回答率

4,025/6,633 =60.7% (前回:60.8%)

2012 年度までは、担当する科目全て（実技、実習、演習を除く）を実施対象としていたが、昨年度より、担当科目のうち適当と思うもの1科目以上を教員が選択して実施することとしたため、専任教員は **95.9%**、と引き続き高い実施率であったが、非常勤講師は前回の **96.0%** から **83.6%** と大幅低下の結果となった。

2科目以上アンケート実施した者は、そのうち専任教員 **18名(前回14名)**、非常勤講師 **9名(前回6名)** と若干増加している。

### 設問 3. 【科目の選択理由】

○科目により選択理由はそれぞれで毎回ほぼ同様の結果となっているが、次年度からはWeb受講登録の際、選択しようとする科目のシラバスを必ず見なければならぬしくみに変更

する予定である。

#### 設問4.【板書】

○板書については、「分かりやすい」と回答した割合が37.8%で、ほぼ前回どおりであった。

「分かりにくい」と答えた9.3%の者は、板書について「字が小さい」、「字が汚い、丁寧でない」、「読みづらい」、「書く量が多い」、「消すのが早い」、「略字で解読できない」、との指摘を具体的に記述している。

また、板書ではないが、パワーポイントデータの投影について、「色使いが見にくい、字が細かい」などの指摘もあった。

#### 設問5.【話し方】

○教員の話し方についても、「分かりやすい」が58.1%で、ほぼ前回どおりであった。「わかりにくい」と答えた9.9%の具体的な理由としては、「マイクの音量が適切でない（大きすぎる、小さすぎる）」、「聞きとりにくい」、「しゃべるのが早い」といった記述があったが、ほとんどが毎回特定の科目・担当者に関するものである。「静かなので聞きやすい」といった記述もあり、教室の静かさとの関係も大きいようである。

#### 設問6.【授業の復習】

○「授業の復習」については、「復習を全くしたことがない」が2ポイントほど低下したものの36.1%であり、相変わらず授業の復習をして理解を深める習慣が備わっていない者が多いといえる。学科別には、スポーツ経営学科は復習をしていない割合が47.3%であったのに対し、情報メディア学科では30.9%、公共政策学科30.8%にとどまり、学科による差異がみられた。

一方で、「毎回復習する」(11.0%)と「ほとんど毎回復習する」(12.6%)と回答した学生は合わせて23.6%で、ほぼ前回どおりの割合となった。

中教審の「学士課程教育の構築に向けて」(答申)に対応し、シラバスの項目として時間外学習の内容や目安時間を掲載しているが、自主的な学習が行われていない現状から、さらに具体的な課題を出す等の工夫が必要である。

#### 設問7.【授業の工夫】

○理解度を深めるため、「レジュメの配布」が(50.0%)、「パワーポイント等電子化された教材の利用」(24.1%)、「ビデオ・DVDの利用」(17.6%)などが取り入れられている割合はほぼ例年どおりであり、自由記述欄には、こうした授業での工夫により、「理解が深まった」、「わかりやすい」といった回答が多く寄せられた。

一部科目で実施された「ゲスト講師による授業」では、具体的でわかり易いと概ね好評であったことに加え、ティーチングアシスタントが入る情報系科目では、わからない時すぐに個別対応してもらえるなどと評価の声があった。

#### 設問8.【授業環境】

○教室内の授業環境については、全体の約3分の2(65.4%)が「常に静穏」であると回答している。「私語や携帯電話の使用が常にある」との回答が4.7%であったが、記述部分に

は、「私語や途中退席は集中できないので注意して欲しい」、「遅刻や途中退席する学生が多いので、出席カードや失格など厳格にして欲しい」など教員の対応を求める声が多くあった。最後の設問「良かったと思われる点」でも、「教員が騒がしい学生を注意してくれた」などと「静かな授業」を評価する回答が非常に多くあることから、真面目に授業に取り組みたいと思う学生のためにも静穏な環境を整える必要がある。

### 設問 9. 【授業の進め方】

○学生が理解できているかを確認する工夫として、「学生との問答がある」(27.1%)、「前回の振り返り」(27.4%)、「小テストの実施」(24.7%)、「質問に対する適切な回答」(9.3%)などほぼ前回どおりの割合で実施されている実態を確認できた。逆に「ほとんど一方的だった」と答えた割合は、5ポイント改善し10.8%となったが、特にスポーツ経営学科で学科別に唯一平均以上の14.3%と高くなっている。

### 設問 10. 【授業の難易度】

○授業の難易度は、「理解できる」(43.8%)、「十分に理解できる」(28.5%)をあわせた72.3%が授業を理解できておりほぼ前回どおりであるが、「やや難解」(21.7%)、「難解すぎて理解できない」(6.0%)など大よそ教室内の3人に1人の者が理解できずに授業を受けているといえるため、担当者は、授業の進行にあたって学生の理解度を確認する何らかの工夫が必要であろう。

学科別には、「難解すぎて理解できない」と回答した学生の割合が、公共政策学科で2.3%と際立って低い結果となっている。

### 設問 11. 【授業への意欲】

○授業に対する意欲としては、「非常に意欲的」(29.4%)、「やや意欲的」(39.1%)で概ね7割は意欲的に臨んでいることがわかるが、自ら「意欲的でない」と正直に答える学生も7.0%おり、授業選択の理由との関連があるのかなどさらに追究するべきかもしれない。

### 設問 12. 【授業満足度】

○授業の満足度は、「満足も不満もない」が27.1%で、「まあまあ満足」(35.1%)、「非常に満足」(31.3%)をあわせた「概ね満足」者が約3人に2人、「やや不満」(3.7%)、「非常に不満」(2.5%)を合わせた「不満」者が6.2%の結果となった。

学科別には、公共政策学科で「概ね満足者」が78.4%と極めて高い結果となっている。

### 設問 13. 【良かった点、改善してほしい点 (抜粋)】

<良かった点>

- ・グループワークでいろいろな人の意見を聞き視野が広がった。
- ・販売体験や見学など参加型の授業がとても良かった。
- ・配付プリントが穴埋め式なので理解が深まる。
- ・優秀レポートを発表してくれるのでやる気が出た。
- ・レジュメがわかり易い。
- ・名前と顔を覚えて授業を進めてくれた。

- ・提出レポートにコメントを入れ返してくれた。
- ・前回の復習や授業の終わりに振り返りがあり、十分理解することができた。
- ・静かな授業で、講義に集中できた。
- ・過去の体験談やタイムリーな具体例を取り入れてくれるので分かりやすい。
- ・学生の理解度に合わせて、授業を進めてくれるので、分かりやすく授業についていけた。
- ・質問に対し丁寧に教えてくれた。
- ・学生に理解させようとする熱意が感じられた。

<改善してほしい点>

- ・先生が授業に来るのが遅い。
- ・私語や途中退席を注意して欲しい。
- ・遅刻者に優しく、またできない人に合わせた授業を進めるのでやめて欲しい。
- ・一方的な授業で理解不能。何をしたいのかわからない。
- ・ビデオ鑑賞ばかりで講義の時間が少ない。
- ・グループワークは良いがやる人とやらない人がいる。
- ・教科書を購入したのにほとんど使用しない。
- ・わからないことを聞きたいが質問しづらい雰囲気がある。
- ・授業に関係のない雑談が多い。
- ・進むペースが早い。

以 上